

# FMアップルウェーブ 第51回番組審議会

開催日時	平成20年8月30日(土) 12:30~13:15
開催場所	菊富士(弘前市坂本町)
出席委員	委員長 佐藤 圭一郎、 副委員長 工藤 茂起、 委員 佐藤 浩之、 吉澤 葉子、 相内 英之、 片山 和美、 渋谷 拓哉
会社側出席者	常務取締役 一戸 勝美、 取締役 田中 尊 取締役 波多野 厚緑 取締役 倉田 昌直 取締役 成田 尚三、 放送部統括マネージャー 玉田 雅規 放送部チーフ 稲葉 みどり
議題	(1)番組に対する意見要望 (2)次回開催日について 平成20年10月18日を予定 *変更の場合は前もって連絡
議事の概要	<p>○各委員が質問と意見や気が付いた点を述べる形で議事が進行した。</p> <p>1)課題番組『もじゃもじゃラジオ♪』毎週木曜 21:00~22:00 (NPO キャスト制作)</p> <ol style="list-style-type: none"><li>なし崩しに話が掛け合いで進んで釈然としない気持ちであった。また、話の内容が曖昧で本当なのか間違いなのかさえ解らないまま話を進めていた。正しい情報を調べて正しいことを話すべき。</li><li>出演者2人自身がキャラクターを狙って作っているのであればおもしろいと思った。選曲テーマが共感を得られるものではなかった。</li><li>何をテーマにしているのか、何の番組なのか番組コンセプトがよく解らない。話している内容もラジオでトークするレベルのものではなく世間話程度にしか聴こえない。1時間番組である必要がない。</li><li>「もじゃもじゃラヂヲ」というネーミングが女性には受け入れ難いのではないかと思う。出演者2人の声のトーン(ボリュウム)が違いすぎて聴きにくかった。脈絡のない話ばかりで聴くのが苦痛だった。</li><li>声のトーンが違いすぎる。録音番組なのであれば2人で聴いて修正をかけるべき。言い回しを工夫して欲しい。</li><li>これまでキャストのいろんな番組を聴いてきたが、今回の番組ほどつまらないものはなかった。キャストの番組づくりそのものが問われる時期に来たのだと思う。「公のメディアを使って流す」ことをよく考え制作してほしい。出演者2人だけの問題ではなく、キャスト全体で考えていかなければならない問題だと思う。素人とプロの違いをはっきりさせた方がいいのではないか。今後のキャストの番組に期待します。</li><li>言葉づかいを工夫して欲しい。津軽弁や共通語は使い方考えて狙って使っていけば面白いものになるだろう。曲の出し方は唐突すぎて工夫が足りないと思った。曲をかけるにしても一言加えるだけで質が上がるという点に気付いて欲しい。</li></ol> <p>2)その他、放送全般に関して</p> <ol style="list-style-type: none"><li>曲の紹介が早すぎる。曲を案内するときは早口ではなくゆっくり話してほしい。曲紹介が聴き取れないことが多い。</li><li>吉澤委員からのキャストの活動についての質問に対しキャスト副理事長でもある波多野取締役よりキャストの現状が報告された。</li></ol> <p>○審議機関の答申または改善意見に対し取った措置</p> <p>社内関係部署への周知徹底を図り、次回番組審議会時に改善策を回答する。</p> <p>○審議機関の答申または改善意見の公表</p> <ol style="list-style-type: none"><li>議事録を本社に配備し、社内各部署に配布</li><li>FMアップルウェーブのホームページに掲載</li></ol>